

(9) 中国



中国地域では、景気は一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている。

- ・ 鉱工業生産は平成 30 年 7 月豪雨の影響もあるものの、持ち直しの動きがみられる。
- ・ 個人消費は持ち直しの動きが続いているものの、足踏みがみられる。
- ・ 雇用情勢は着実に改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(は上方に変更、 は下方に変更)

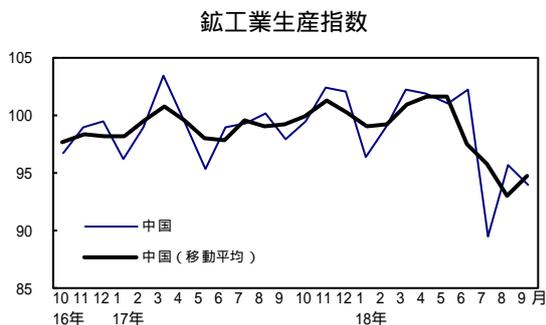
前回からの主要変更点

なし

1. 生産及び企業動向

(1) 鉱工業生産は平成 30 年 7 月豪雨の影響もあるものの、持ち直しの動きがみられる。

7 - 9 月期には、輸送機械は、平成 30 年 7 月豪雨の影響により一時的に普通乗用車等が減少したが、稼働状況には回復の動きがみられる。化学は、設備定期修理の影響で合成ゴム等が減少した。はん用・生産用・業務用機械は、平成 30 年 7 月豪雨の影響により一時的にシヨベル系掘削機械等が減少したが稼働状況には回復の動きがみられる。鉄鋼は、平成 30 年 7 月豪雨の影響および設備メンテナンスにより特殊鋼熱間圧延鋼材等が減少した。電子部品・デバイス、光電変換素子等が減少した。



域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比)(%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		4 - 6 月期	7 - 9 月期	7月	8月	9月
輸送機械	23.5	10.2	14.9	24.2	18.3	0.6
化学	16.4	1.3	6.2	5.0	4.5	11.5
はん用・生産用・業務用機械	11.2	0.1	8.0	16.7	11.7	4.2
鉄鋼	7.7	0.9	6.1	12.1	8.5	1.9
電子部品・デバイス	7.1	7.2	6.5	1.8	3.7	4.1
鉱工業	100	2.5	8.6	12.5	7.0	1.9

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い 5 業種。

2. 7 - 9 月期、9 月は速報値。

(備考) 1. 2010 年 = 100、季節調整値。中国の最新月は速報値。

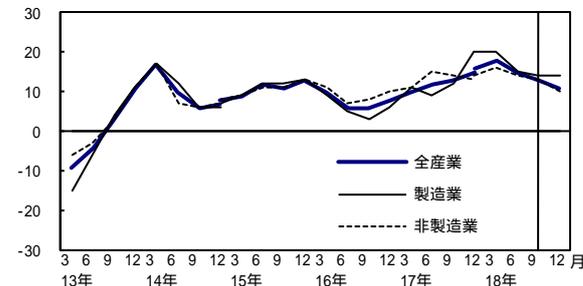
2. 中国の大線は中心 3 か月移動平均。直近月は 2 か月平均。

(9) 中国

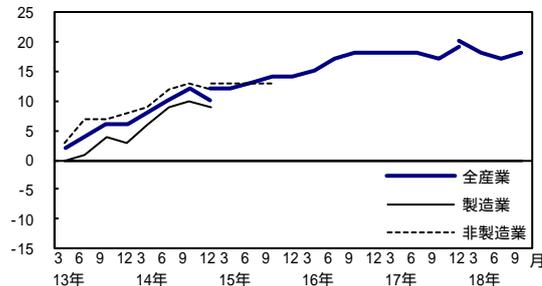
(2) 日銀短観における業況判断は「良い」超幅が縮小し、資金繰り判断は「楽である」超幅が横ばいとなっている。

企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査

(%ポイント) 企業短期経済観測 [業況判断]



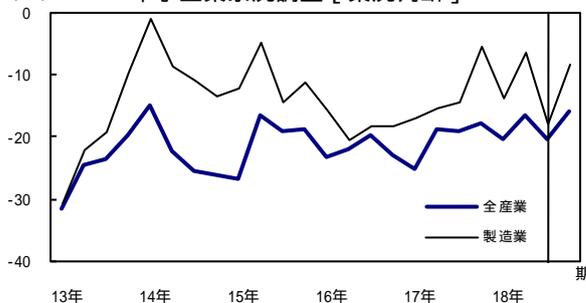
(%ポイント) 企業短期経済観測 [資金繰り判断]



(備考)「良い」-「悪い」回答者数構成比。2018年12月は予測。
2014年12月及び2017年12月は新・旧基準を併記。

(備考)「楽である」-「苦しい」回答者数構成比。
2014年12月及び2017年12月は新・旧基準を併記。

(%) 中小企業景況調査 [業況判断]

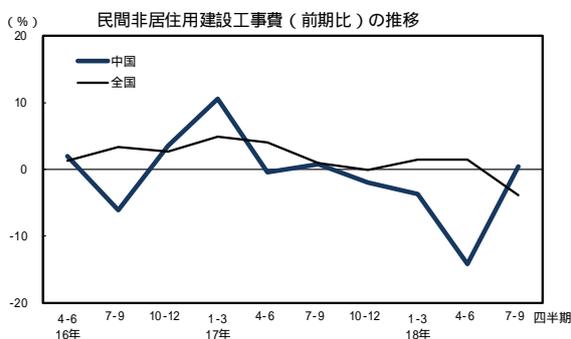


(備考)「好転」-「悪化」回答者数構成比。2018年 期は見通し。

景気ウォッチャー調査(10月調査結果)[企業動向関連(現状)]

「一部で多少の市況回復気運はあるものの、コスト高や船価低迷が続いており、構造的にやや悪い状態は続いている(輸送用機械器具製造業)」などの回答がみられた。

(3) 設備投資の民間非居住用建設工事は増加している。



企業短期経済観測調査 [設備投資(9月調査)]

	(前年度比、%)	
	2017年度実績	2018年度計画
全産業	4.6	8.6 (4.2)
製造業	5.4	9.3 (8.0)
非製造業	3.3	7.6 (2.0)

(備考)()は前回(6月)調査比修正率。

(備考) 1. 季節調整値。

2. 2018年4-6月期以降は国土交通省「建設統計月報」の非居住用建築物工事費予定額を平均工期9.8か月で進捗展し、その伸び率を基に実績額を延伸。

2. 需要の動向

(1) 個人消費は持ち直しの動きが続いているものの、足踏みがみられる。

地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

7月は前月比1.2%減、8月は同0.9%増、9月は同0.3%増となった。

百貨店・スーパー販売額

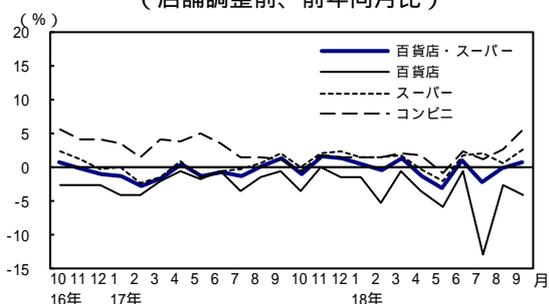
百貨店は、7月は、豪雨や猛暑などの影響から全ての商品が前年を下回った。8月は、猛暑により秋物衣料品の動きが鈍く前年を下回った。9月は、雨の日が多かったため来客数が伸びず前年を下回った。

スーパーは、7-9月期は、飲食料品などが好調で全体としては前年を上回った。

景気ウォッチャー調査 (10月調査結果) [家計動向関連 (現状)]

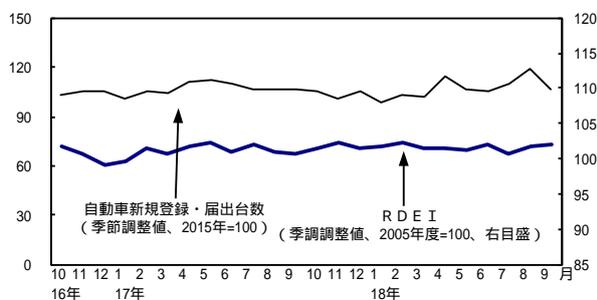
「10月に入り急激に気温が低下し、コートやジャケットなどのアウターの動きが良く、旅行のために婦人用、紳士用、子供用をトータルで購入する客もいる。食品物産展も好調で景気が上向いている (百貨店)」などの回答がみられた。

百貨店・スーパー販売額等
(店舗調整前、前年同月比)



	2018年7-9月	2018年7月	8月	9月
RDEI (消費*1)	0.1	1.2	0.9	0.3
百貨店・スーパー(*2)	0.5	2.2	0.1	0.9
百貨店(*2)	7.0	12.8	2.6	4.0
スーパー(*2)	1.9	2.2	0.7	2.7
コンビニ(*2)	3.1	1.3	2.8	5.5
乗用車(*3)	4.4	4.1	11.9	0.7
(季節調整値)(*3)	2.3	4.2	8.2	10.3

RDEI (消費)と自動車新規登録・届出台数の推移



(備考) 1. 季節調整前前期(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

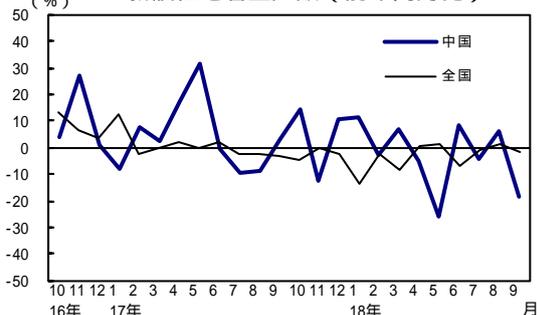
3. 乗用車は、新規登録・届出台数 (上段は前年同期(月)比 (%))

(2) 住宅建設は前年に比べて減少している。

持家、貸家、分譲いずれも前年を下回ったことから、全体では減少している。

(3) 公共投資は2018年度累計で見ると前年度とほぼ同水準となっている。

新設住宅着工戸数 (前年同月比)



公共工事請負金額 (前年同月比)

